

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

## 【実践者】

授業者氏名	田辺 記子	学校名	私立 立命館守山高等学校
教科（科目）・領域	世界史 A	対象学年（人数）	1年 1・7組（41・43名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2018年 8月 ～ 9月（3時間）		

## 【実施概要】

1. 単元名(活動名)：現在につながる社会の出現	
2. 教科・領域との関連性： 世界史A単独の教科学習	3. 学習領域
4. 単元の目標（評価の観点を意識して設定）： ・大衆社会が成立した背景、19世紀末における列強諸国の世界進出の過程、世界的な人口移動の背景について理解する。 ・19世紀末～20世紀初頭にかけての世界の動向を整理し、歴史的背景から現代社会の抱える課題について考察する。	
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能 大衆社会が成立した背景、19世紀末における列強諸国の世界進出の過程、世界的な人口移動の背景について理解している。
	②思考力、判断力、表現力等 19世紀末～20世紀初頭にかけての世界の動向を整理し、自分のことばでプリントにまとめている。
	③学びに向かう力、人間性等 歴史的背景から、現代社会の抱える課題について考察しようとしている。
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 年間指導計画に則り、教科書に沿って授業を進める。一方で、コマ数の都合上、教科書の全てを網羅できないことから、各節の核となる部分を中心に内容を精選する必要があるため。
	【単元の意義】 現代社会の抱える問題は、昨日今日生まれたわけではない。「大衆社会の出現」「帝国主義」「人口移動」という3つのキーワードを軸に、現代につながる社会が19世紀に形成されたという歴史的背景を理解することにより、現代の地球的課題を解決する糸口を見つけようとする関心・意欲・態度を育成することができる。
	【児童/生徒観】 1年生の1学期ということもあり、ここまでは予習にも比較的取り組んでいた。また授業中の発言は活発に行われており、周囲との意見交換も積極的に行うような生徒たちである。よって、大半の生徒はSDGsやそれが策定された背景にはこれまでの歴史的要因が大きく関わっていることを理解している。
	【指導観】 夏季休業期間には、SDGsと関連させた課題を課していなかったことから、2学期初回の授業においては授業開き同様、学びの意義について再確認する必要があると考える。生徒の学習意欲を継続させることは重要であり、「大衆社会の出現」はその動機付けに適した教材である。

7. 単元計画 (全 60 時間)			
※全体の総時間数や「本時」の記入場所は適宜変更してください。			
時	ねらい	学習活動	資料など ※: JICA リソース 活用はここに記載
1 本時	<p>「大衆社会の出現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>19 世紀末～20 世紀初頭にかけて、現在につながる社会のしくみが築かれたことを理解する。</li> <li>2015 年になって SDG s が策定された歴史的背景には、大衆社会の出現があることを理解する。</li> <li>なぜ、世界史を学ぶのかという本質的な問に対して、自分の意見を述べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を読む。</li> <li>予習した内容を近くの人と共有する。</li> <li>授業プリントに書き込む。</li> <li>世界史を学ぶ意義について、自分の意見をまとめる。</li> </ul>	<p>教科書: 『明解世界史 A』 帝国書院</p> <p>資料集: 『最新世界史 図説 タペストリー』 帝国書院</p>
2	<p>「世界の分割を進めた帝国主義と人口移動」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第 2 次産業革命による資本主義の発展が列強の帝国主義を生み、その列強が中国・太平洋地域・アフリカ地域へ領土を拡張していく過程を理解する。</li> <li>現在、ハワイには多くの日系人が住んでいるほか、世界の様々な地域に中華系・インド系の人々が住んでいることの背景を理解する。</li> <li>グループで意見を交流し理解を深めるとともに、理解したことを自分のことばで文章としてまとめることができる。</li> <li>この時代に植民地政策が進んだことが、現代社会にどのような影響を及ぼし、どのような SDG s につながっているかを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を読む。</li> <li>予習した内容を周囲の人と共有する。</li> <li>自分の理解を周囲の人と確認し合う。</li> <li>授業プリントに書き込む。</li> </ul>	同上
3	<p>「世界の分割を進めた帝国主義と人口移動」(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) に同じ</li> </ul>	同上	同上

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
<p>8. 本時の展開</p> <p>本時のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19 世紀末～20 世紀初頭にかけて、現在につながる社会のしくみが築かれたことを理解する。</li> <li>・ 2015 年になって SDG s が策定された歴史的背景には、大衆社会の出現があることを理解する。</li> <li>・ なぜ、世界史を学ぶのかという本質的な問に対して、自分の意見を述べることができる。</li> </ul> <p><b>導入</b> (5 分)</p> <p><b>展開</b> (35 分)</p>	<p>○本時の目標の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19 世紀末から 20 世紀初めに、どのような社会のしくみが築かれたのかを理解する</li> <li>・ このしくみから取り残されてしまった人たちや、このしくみの犠牲になっている人たちがいるため、今世紀に SDG s ができたことを理解する</li> </ul> <p>○予習の確認</p> <p>◆大衆社会の始まり</p> <p><b>Q. 19c 末～20c 初、具体的にはどのような社会のしくみができた？</b></p> <p>○周囲と意見交換 →全体共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 義務教育 ・新聞 (マス＝メディア)</li> <li>・ 男子普通選挙 →女性の参政権</li> <li>・ 議会制民主主義</li> <li>・ 大量生産、大量消費</li> <li>・ 大衆文化</li> </ul> <p><b>Q. 「大衆社会の出現」から SDG s 策定の要因を考えよう</b></p> <p>①教科書には「・・・」と書いてある</p> <p>②だけど、現代の社会ではこういうところが十分じゃないのでは？／ だから、現代社会のこういうところに弊害が残っているんじゃないの？</p> <p>③なので、この SDG s ができたのだと思う！ という個所を見つけて、ワークシートに記入する。</p> <p>○周囲と意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習では「最低3つみつける」となっていたので、各自の意見を持ち寄り、ワークシート</li> </ul>	<p>机間巡視</p> <p>ただし、こうした動きが見られたのは先進資本主義国だけであったことを示す</p> <p>予習段階から、例を提示する</p> <p>①教科書 p150ℓ3 には、「西ヨーロッパでは、第 2 次産業革命による生産拡大と賃金の上昇、植民地からの収益などが国民の生活水準の上昇と均一化をもたらした。」と書いてある。</p> <p>②でも、「生産拡大と賃金の上昇」って、どこまでも追い求めたくなるからきり</p>	<p>教科書：『明解世界史 A』帝国書院</p>

<p>まとめ (10分)</p>	<p>の欄6つを埋める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①で同じ箇所を抜き出しているが、選択したSDGsが異なる場合は、その理由をお互いに理解し、ワークシートに追加する</li> </ul> <p>※想定される生徒の解答例</p> <p>①「その結果、世紀末には男女共学や大学の女性への開放が始まり、看護師やタイピストなど新職種も誕生した。」</p> <p>②しかし日本の場合、医大では「女子に対する一律減点」が行われており、女性差別と思われるような実態がある。</p> <p>③だから、5番「ジェンダー平等を実現しよう」ができたと思う。</p> <p>○教科書にある資料なども見ながら、全体で共有</p> <p>○世界史を学ぶ意義を考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q. 改めて…私たちはどうして世界史を学ぶの？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントに記入</li> <li>・時間があれば周囲と意見交換</li> </ul> </div>	<p>がない。その結果、働き過ぎになって過労死になる人が出てきているのは？</p> <p>③なので、8番「働きがいも経済成長も」ができたと考える。</p> <p>適宜、机間巡視</p> <p>*その他の解答例は、別添資料参照</p> <p>様子を見ながら進度を決める</p> <p>生徒から出なかった観点については、教師から提示する</p> <p>「正しい」「間違っている」解答があるわけではなく、物事を多面的に見ることの重要性を理解させる</p> <p>今後の授業でも、積極的にSDGsと関連させながら歴史を理解し、持続可能な社会の在り方について常に考えていけるよう、次時以降の動機付けを行う</p>	
----------------------	---	---	--

9. 評価基準に基づく本時の評価（評価方法）

【知識及び技能】

19世紀末～20世紀初頭にかけて、現在につながる社会のしくみが築かれたことを理解している。

【思考力、判断力、表現力等】

「大衆社会の成立」が生み出した現代社会の問題点を、SDGs策定の要因と結びつけて考えている。

【学びに向かう力、人間性等】

なぜ、世界史を学ぶのかという本質的な問に対して、自分の意見を述べている。

## 10. 学習方法および外部との連携

生徒はどのクラスも横6列で着席している。授業中は頻繁に周囲との意見交換を行いたいため、3列・3列で横の人と机をつけた状態にしている（毎授業）。2列・2列・2列では隣の生徒の学習意欲が低い場合、他方のやる気もそがれてしまう。また4名程度のグループ体型では対話に参加しない生徒が出てくる、白板が見づらくなるという難点があり、結果として3列・3列がベストであると感じている。また、こうした机配置にすることで、授業についていくのが困難な生徒を周囲がフォローできる体制にもなっており、授業がスムーズに進行できるようになった。

## 11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

- ＊キャリア教育開発部（ユネスコスクール事業を含む）として、今年度以下のような取り組みを実施し、名実ともにESDの推進拠点となることを目指している
- ・学内共有フォルダに「ESD/SDGs教材ルーム」作成し、ユニセフやNPOなどが作っているSDGs関連資料をPDFで置く。また、SDGsを用いた先生方の授業実践も入れ、随時閲覧可能とする
- ・ユネスコスクールから通知されるSDGsや国際協力に関する教員研修の案内を、全教員にメール配信する（随時）
- ・Think the Earth『未来を変える目標SDGsアイデアブック』（40冊）を希望教員に配布
- ・「SDGsアイコンマグネット」を作成、希望教員に配布 →授業、高校教員室「本日の予定」に活用
- ・SDGsTVに本校の教育活動を掲載【<https://sdgs.tv/sdgs/1301.html>】（2018年12月7日最終確認）
- ・教科主任会議において、SDGsの積極的活用を依頼
- ・校内教員研修会にて、SDGsに関する勉強会を実施
- ・「立命館守山のSDGs」パンフレットの作成・配布
- ・「SDGs+R」（SDGsを用いた教育実践報告書）の作成・配布
- ・ICT公開研究授業（11月24日実施）において、ICT×SDGsの実践を分科会にて報告

## 【自己評価】

12. 苦勞した点	主発問において、「だけど、現代の社会ではこういうところが十分じゃないのでは？／だから、現代社会のこういうところに弊害が残っているんじゃないの？」という部分を考えだし、SDGsと結びつける活動を行ったが、この箇所では不十分な点や弊害を上げるのではなく、利点を挙げている生徒が数名いた。例えば、「マスメディアの発達」という教科書記述から、「現代社会はインターネットが普及し、現地へ行かなくても世界の情報を入手できるようになった」と考え、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」が設定された、というようにである。こうした生徒はSDGsがそもそも「世界の困りごと」である点を理解していない。SDGsはアイコンのポップさが生徒の関心を引き付けるが、それだけに目を奪われないよう、あくまで補助教材であることを意識する必要があった。
13. 改善点	50分という時間で行ったため、生徒の様々な意見をすべて拾い上げることができなかった。本校は生徒全員がiPadを持っており、ロイロノートという機能を使えば授業後にも全体に意見を共有することが可能である。他者の意見も取り入れることで、より深い学びへとつなげていく必要がある。ICT未導入の学校においても、プリントを回収し印刷をして配布することは可能であると考ええる。

14. 成果が出た点  
この授業との因果関係はわからないが、2学期も1学期同様、あるいはそれ以上の学習意欲を持って生徒が授業に臨んでいたと考える。「つながった」というフレーズが世界史授業における「流行語」となり、生徒がその言葉を発したがっている様子は、過去・現在・未来をつなげて考えたい授業者の意図が伝わったものとする。

15. 学びの軌跡  
(児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)

Q. 「大衆社会の出現」からSDGs策定の要因を考えよう  
(生徒の記述)

	① 教科書には「・・・」と書いてある	② だけどorだから、・・・	③ SDGs
1 (51 21)	「第2次産業革命により大量生産された新商品は、各国で発展したデパートによって消費者に橋渡しされ、大量消費の時代が始まった。」	大量生産され、デパートですぐに手に入るようになった。なので、物の大切さや食料の大切さが薄れてきた。そして、安価なものが増え、「つくる責任、つかう責任」が生まれた。	12番 「つくる責任、つかう責任」
2 (51 11)	「第2次産業革命により、大量生産された。」	これにより、大気汚染や水の汚染によって様々な生き物が絶滅し、森林がなくなっている。	15番 「陸の豊かさを守ろう」
3 (51 14)	「海水浴場や遊園地、旅行社などのレジャー産業が発展した。」	海水浴場や遊園地が発展したことにより、海や森林などが失われ、自然が変わっていった。しかし、開拓ばかり進み、それに対して全く対策をとっていない。	14番 「海の豊かさを守ろう」 13番 「気候変動に具体的な対策を」
4 (50 10)	「アメリカでは黒人は除外されたままであった。」	だから、今でも「黒い人が金でうたれた」やトランプ大統領のように黒人を排除するような人が生まれる。よって、アメリカでは現在も変わらない。	10番 「人や国の不平等をなくそう」
5 (51 2)	「女性の参政権運動は19世紀後半、教育・職業の機会均等などを求める女性運動と連携して行われた。その結果、世紀末には男女共学が大学へ行くことが許されたが、参政権の獲得は、第一次世界大戦後にもちこされた。」	今では日本では参政権もある。自由選挙や女性も社会に参加できるようになり、教育も女性が高校や大学院に行くこともあたり前になった。しかし、他国では宗教的な理由で女性が教育や政治がうけられていない。	16番 「平和と公正をすべての人に」

Q. 改めて…私たちはなんで「世界史」を勉強するの？  
(生徒の記述)

- ・産業や文化の発展によって生じた問題を改めて私たちの時代で繰り返さないようにするため。
- ・世界の歴史を学ぶことで、世界の現在のルーツを知ることができる。それは世界が抱える問題の原因を知れることになる。世界史を勉強することで、未来をつくる知識を得ることができるから。
- ・自分本位、日本本位にならず、世界に目を向け、世界の問題に対して自分たちは何ができるのかを考えるきっかけをつくるため。
- ・昔の世界と現代の世界を結びつけて考えられるようにして、様々な問題に対して自分で考えられるようにするため。
- ・どのような仕組みで現在の社会が形成されたかを知り、世界の問題を解決していくため。

こうした生徒の意見から、歴史という科目が単に過去を学ぶ授業ではなく、今から自分たちの生きる世界を形成する際の糧になるということを理解できていると考える。歴史の授業ではあるが、「過去」にフォーカスがあたるのではなく「現在」、「未来」にあたっている点は評価できる。また、その「現在」「未来」が自己中心的に考えられていない点も、SDGsの「誰一人取り残さない」という観点から重要であるとする。

16. 授業者による 自由記述	<p><b>【冬休み課題】</b></p> <p>こうした授業を踏まえ、冬休み課題に「世界史の学習を振り返って 持続可能な社会について考えよう」と題したパフォーマンス課題を課すことにする。内容は、これまでの授業プリントをもとに、①SDGs 達成のために知っておかなければならないと考える歴史的出来事について、ガバナンス・環境・社会・経済の4項目に分けてワークシートに整理する、②整理された歴史的出来事の中から自分がもっとも気になるものを1つ選び、それに関する説明と、その出来事が現代社会に与えている影響を調べる、③さらに、そうした状況を踏まえて、よりよい世界をつくろうとどのような人（国）がどのような取り組みをしているかを調べる、④ ②③を通じて考えた自分の意見、自分にできることなどを述べる、というものである。</p> <p>本来であれば、「冷戦終結」まで単元が進んだ段階で行うことが望ましいが、冬休みという長期休暇を利用しじっくりと考える時間を設ける方が、2学期の復習も兼ねて生徒の学びが深まると考え、このタイミングでの実施とした。この課題の成果を見ることによって、生徒が述べる「世界史を学ぶ意義」が、単なる上辺の理解か否かを図ることができよう。</p>
--------------------	---

参考資料：特になし